

【鳥取県の全体目標】 がんによる死亡者の減少 75歳未満がん年齢調整死亡率(人口10万対)を70.0未満とする
 (令和 年度まで) (男女別の目標値 男性：90.0未満 女性：50.0未満)

【中期目標】 がんパス適応症例の増加
 (令和6年度～令和 年度)

前年度の目標	がんパスの適応症例の増加	
	前年度Plan	前年度Act
1.全手術症例の把握 2.適応可能症例数の把握 3.適応奨励数の増加 4.各医師会での委員会活動の充実 5.定期的に部会をweb開催し活動を充実させる		1.手術奨励のみを対象とするように修正が必要であり、各施設に呼びかけた 整理・明確化した。 2.適正な症例抽出をするように核施設に呼びかけた。 整理・明確化した。 3.引き続き啓発をおこなうよう核施設に呼びかけた。 議論・検討した。 4.登録施設の増加と、各医師会での委員会活動を啓発するよう呼びかけた。 議論・検討した。 5.協議会での内容をfeedbackし部会活動を活性化したい。 議論・検討した。

今年度の目標	癌パスの適応症例の増加			
	Plan(計画)	Do(実施)	Check (点検・評価)	Act (処置・改善)
1.全手術症例数の把握 2.適応可能症例数の把握 3.適応症例数の増加 4.各医師会での委員会活動の充実 5.定期的に部会をweb開催し活動を充実させる。 6.希少がん、難治がんの対応を行う体制につき検討を行う。	1. 2023年の各病院の手術症例数を調査した 2. 2023年の適応可能症例数の調査を行った。 3. 適応症例数の増加のため、各病院で取り組み目標を立てて活動を行った。 4. 各医師会に委員会が設置されたが、今年度の活動については把握できていない。 5. 今年度は1回しか開催できていない。 6. 希少がんではないが、5大癌以外に前立腺癌に関しては東部で試行錯誤している。	1. 2023年の各病院の全手術症例数の提出を各病院から得て行った。 2. 2023年の各病院の適応可能症例数の提出を頂いた。 3. 起動に乗り中間報告でも増加している施設がある一方取り組めていない施設もある。 4. 西部は大学、中部は厚生病院、東部は日赤が各医師会に働きかける。	1. 提出方法の徹底を図ったが周知できていない施設があったので、再報告を求めており、再計算する予定である。 2. 提出方法の徹底を図ったが周知できていない施設があったので、再報告を求めており、再計算する予定である。 3. 各施設と情報交換し、有益な方法を検討して頂く 4. 今年度中にてできれば働きかける。	